

2015年1月21日

日本大使館からのお知らせ
～ シリアにおける邦人拘束事案を受けた注意喚起 ～

20日、イスラム国を自称するテロ集団によって発出されたとみられる動画がインターネット上で配信され、同映像には、邦人2名の殺害が予告されています。今回の事案の発生により、日本人がテロ・誘拐等のターゲットになり得ることが改めて明らかになりました。

当館より発出している緊急一斉通報（INSIDE）でご案内のとおり、ハンガリー国内におけるテロ脅威度については、今月16日、内務省が「具体的なテロの脅威は存在しないものの、警戒強化のため最低位からの一段階引き上げを行う」と発表しました。また、昨20日に開催されたハンガリー国家安全保障委員会においては、「ハンガリーは他国と異なりテロのターゲットとはなり得ない」として、西欧諸国に比較してハンガリー国内におけるテロ事案発生の可能性は低いとしています。

在留邦人の皆様方におかれましては、ハンガリー政府発表にあるとおり、ハンガリー国内におけるテロ脅威度は他国に比して低いことをご認識いただく一方で、日本人が誘拐・テロの対象となる可能性も十分に考えられることをご理解いただき、引き続き、安全確保に努めていただくようお願いいたします。

なお、本事案に関する最新情報につきましては、当館ホームページ「大使館からのお知らせ」及び「外交政策ニュース」並びに外務省ホームページの下記URL (http://www.mofa.go.jp/mofaj/me_a/me2/page16_000010.html) をご参照下さい。